



ニュースレター



NPO 法人大阪環境カウンセラー協会

第 15 号

Sept.2003

ご挨拶

いつの間にか秋になっています。庭の真ん中に紅蜀葵が一輪咲いています。

平成 15 年度も中間に差し掛かりました。各部門の進行状況は概ね順調で、当初計画していなかった柱：「公開セミナーPT会議」(担当：藤井チームリーダー)がしっかり立ち上がる段階です。また、10月25日くるくるプラザ見学会(担当：長澤チームリーダー)、11月にはワンワールドフェスティバル(担当：一戸氏)と大阪府の環境フェア(担当：北氏)、環境カウンセラー全国連合会(ECU)が実施する「環境教育指導者養成セミナー」を12月6日(担当：吉村チームリーダー)などなど、多くの行事が控えています。秋風に包まれながら、会員の皆様にはこれらの行事に多数参加していただきたく願います。また、環境省の新EA21のパイロット事業にも積極参加しています。(担当：大畑チームリーダー)これ以外のもまだまだ皆さんにお話したい話題が多くありますが、後は各部門長・プロジェクトチームリーダーにお願いいたします。お陰様で、会員も145名を突破した事をご報告致します。

理事長 高井茂

新EA21エコアクションプログラム

環境省は、EMS取得の広がりの中で、中小事業者でも容易に取り込むことができ、ISO14001と同様に認証を受けることができる環境活動評価プログラム(エコアクション21)を、16年度よりスタートさせるにあたり、パイロット事業の公募を行っていましたが、全国230社の選抜企業及び審査人がきまり、関西では事業説明会が8月28日京都で開催されました。

当協会では、5月に「EA21導入チーム」を立ち上げ、導入賛同企業へのアプローチ努力を行ってまいりました。その結果34社がパイロット事業に応募し、21社(大阪府29社)が採用されました。また、「EA21導入チーム」から、3名の委嘱審査人が選ばれました(高井、宇田、大畑)。

参加者のほとんどは環境システムのPDCA管理手法等は初めてで、環境省の言う“途中計2回の指導・助言と1回の審査”で、このパイロット事業を成功させるのは難しい事業所もその規模等により出てくる戸と思われます。OECAとしては、環境省の新EA21パイロット事業を成功させるために“EA21パイロット事業参加事業所支援セミナーの開催”、“EA21導入チーム指導・助言メンバーの増強”に積極的に取り組みますので、皆様のご支援をお願いします。

最近の活動：

- 7月10日「EA21ドラフト」版による研修会
およびチーム規定説明会(OECA)
- 7月22日「EA21ドラフト」版による研修会
およびチーム規定説明会(OECA)
- 8月2日「EA21ドラフト」版による研修会(試験)(OECA)
- 8月6日「EA21ドラフト」版による研修会(試験)(OECA)
- 9月7日「EA21試行版」版による研修会(試験)(OECA)
(OECA,京都、奈良、和歌山、滋賀)
(EA21導入チーム チームリーダー：大畑 明)



環境公開講座の開催について

11月よりOECA主催で、環境公開講座を毎月1回定期的に、大阪府環境情報センターで開催することにしました。11月、12月の開催日程が決定しパンフレットもできました。この講座が定着化すればやっと民間企業とのパイプができ、情報の発信が可能になり環境カウンセラーの活躍の場が拡大します。

ぜひとも成功させるため皆様の協力よろしくお願いします。今後EA21が普及するにつれこの講座への参加者は飛躍的に増えていくはずで。今後、府内の商工会議所と共催で出張講座も企画中です。講座内容の充実、集客に協力よろしくお願いします。

		午前	午後	夜間
		10:00～12:00	13:00～17:00	19:00～21:00
11月17日	月	大気汚染	グリーン購入・調達	経営者向け環境講座
11月18日	火	水質汚濁	環境法規	地球温暖化
11月19日	水	土壌汚染	省エネ	一般環境教育
11月20日	木	騒音・振動	廃棄物・リサイクル	環境家計簿
11月21日	金	アウトソーシング	ISO14001構築	ISO14001の改善
11月22日	土	LCA	自然観察と環境保全	
		午前	午後	夜間
		10:00～12:00	13:00～17:00	19:00～21:00
12月8日	月	地球温暖化	グリーン購入・調達	大気汚染
12月9日	火	経営者向け環境講座	環境法規	水質汚濁
12月10日	水	ISO14001の改善	省エネ	土壌汚染
12月11日	木	一般環境教育	廃棄物・リサイクル	LCA
12月12日	金	騒音・振動	自然観察と環境保全	アウトソーシング
12月13日	土	ISO14001構築	ISO14001構築	

注：アウトソーシングは法令手続き等、環境管理室の業務を代行する仕事です。

セミナー会場： 大阪府環境情報センター研修室

〒537-0025 大阪市東成区中道7-3-62 TEL: 06-6972-1321

講師への参加、セミナーへの参加申し込み等、詳細はOECA事務所へお問い合わせ下さい。

(環境公開講座PTリーダー 藤井 伸通)

環境マネジメントシステム普及部門

EA21導入チーム、内部監査員養成研修チームと連携して進めています。この度、ISO14001認証取得コンサルティングが1社決まり、9月から支援が始まりました。ISO支援については、本年度はコンサルティングツールの整備期間と位置づけ、これを契機にコンサルティングツールの整備を進めてゆきます。今後、OECAにコンサルの引き合いがあった場合を想定して、紹介するOECA登録ISO14001コンサルタント制度を検討しています。能力(遂行力)に応じて2段階に区分して対応してゆきたいと思えます。

また、大阪市からの受託事業である家庭版環境ISO"なにわエコライフ"については、6月に大阪市12区で『なにわエコライフ』説明会を実施し、9月2日から同じ地区で30日まで『なにわエコライフ』がんばってる会を、延べ20名の会員で分担し推進しています。今後、昨年同様、チャレンジシートの点検作業などが予定されますが、引き続きご協力方お願いいたします。

『なにわエコライフ』の次年度の本格実施に向けて大阪市との協働を進めてゆきます。

(環境マネジメントシステム普及部門 部門長 宇田吉明)

地球温暖化防止活動部門

(財)地球環境センター(GEC)から地球温暖化実験教室を委託

この度、(財)地球環境センター(GEC)から地球温暖化実験教室の委託のお話があり、現在、最終的な協定書を詰めています。

実施期間はH16年3月まで。小学校教師、児童を対象とした地球温暖化防止実験教室、セミナー、授業、環境家計簿等で、実験教室10回程度の事業を考えています。

第1回 「地球温暖化をまなぶ」出前講師養成講座 開催

去る8月7日、8日 森ノ宮 アピオ大阪にて、OECA、CASA、シニア自然大学、共育NGO "To Be", 共催にて「地球温暖化をまなぶ」出前講師養成講座が開催されました。OECA会員へメールでご案内致しましたところ、OECAから3名の参加がありました。朝日新聞にも紹介記事が掲載されたため、遠くは名古屋、岐阜、岡山から定員20名のところ、60名の参加申し込みがあり、急きょ11月12日に再度、第2回を開催することになりました。参加者のうち特に各地の地球温暖化防止推進協議会会員から好評を頂き、実験機材の製作方法の問い合わせや、次回参加希望が寄せられています。



(財)大阪都市協会より舞洲スポーツアイランド実験教室を委託

8月19日、舞洲野外活動センターにおいて、大阪市及び、すきやねん大阪市民運動推進委員会主催「集まれ! OSAKAだいすき in 舞洲 2003」が開催され、大阪市内在住小学生5・6年生80名が参加した、イベントの一つとして大阪都市協会から「温暖化実験教室」の委託を受け、当日、OECAからは宇田、伊達、谷、阪野が参加して実施した。

< 10、11月スケジュール >

10月6日	五領小学校/省エネ授業
10月7日	旭区区民センター/環境セミナー
10月15日	河内長野市/環境セミナー
10月18日	恩智川フェスティバル
10月27日	池田市教師向け環境講座
10月26日	長岡京市環境フェスティバル
10月28日	野洲中学校/省エネ授業
10月31日	イオン財団 報告書提出
11月1、2日	CASA出前講師講座
11月15日	東大阪消費生活センター/実験教室
11月 日	大阪府環境フェア
11月 日	高槻市立柱本小学校/実験教室
10月~11月	池田市科学フェア

10、11月の予定は以上の通りです、会員皆様のご協力をお願いします。

(地球温暖化防止活動部門 部門長 阪野喬)



環境研修会実施チーム

環境研修会実施チームでは下記のように吹田市の資源リサイクルセンター(くるくるプラザ)の見学会・講演会を企画しております。皆様方の積極的なご参加をお願いします。

日時：平成15年10月25日(土) 9時30分集合

場所：資源リサイクルセンター(くるくるプラザ) TEL06-6877-5300

大阪モノレール公園東口下車徒歩 2分(大阪モノレール千里中央より万博記念公園口で乗り換え)

スケジュール：1.見学会 9:40-11:00 2.講演会 11:00-12:00

会費：会員500円(資料代、お茶代を含む)非会員 1000円(資料代、お茶代を含む)

申し込みはOECA事務所内、長澤、又は山本修巳まで FAX:06-6599-0607 までお願いします。

(環境研修会実施チーム チームリーダー 長澤弘一郎)

グリーン購入普及チーム

2002 年度グリーン購入大賞は中小企業部門（大松土建）、大企業部門（松下電器産業）も大阪本社の会社が受賞した。これを機に大阪でのグリーン購入の流れは急速に加速しつつある。また、一方、中小企業向け環境管理システム「エコアクション 21」も新展開をむかえつつある。

このタイミングをとらえ、当協会の活動を市民分野だけでなく事業分野にも広げてゆく機会とするべく、「企業が変わる、市民が変える」をキャッチフレーズのもと5月17日（土）大阪環境カウンセラー協会と環境省近畿地区環境対策調査官事務所が主催して、国民会館大ホールで「グリーン購入セミナー」が開催された。

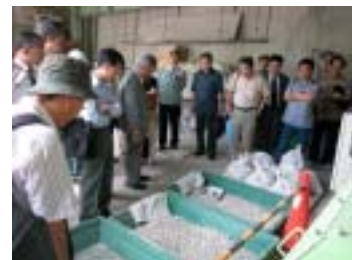
セミナーの趣旨は、事業者へ環境負荷が少ない製品・サービスの購入の紹介と、その調達先における環境管理システムの構築を推進するために「エコアクション 21」の最新の動向の紹介と共に当協会会員の教育を目指した内容で、環境省堺所長の挨拶の後、基調講演「グリーン購入法について」、先進事例発表、パネルディスカッション、特別企画講演「エコアクション 21 第三者認証に向けて」と続き、最後に OECA 高井理事長は、「一皮向けたセミナーであった。」と締めくくった。

また、本セミナーの内容は月間「環境自治体 8 月号」で、掲載されましたのでご参照下さい。

このセミナーに参加された方々から、当日発表された“大松土建”様の工場を見学したいとの要望が相次ぎ、(株)大松土建 新城社長様のご好意により、7月26日、同社の“建設廃材のリサイクル状況”の見学会を環境研修会実施チームと共催で実施しました。

同社中島リサイクルセンターで、ビルを解体したコンクリートガラをエコ砕石にリサイクル様子を見学させていただきました。

当日は暑い日でしたが、セミナー参加者の多数が参加され、見学後の質疑応答では熱心に質問をされていました。



（グリーン購入普及チーム チームリーダー 吉村 孝史）

TOPICS

本年 4 月に社会保険センター「市民環境講座」をペアーレ高槻、ペアーレ東大阪、社会保険センター堺の3ヶ所で各6講座を行いました。下期（10月～11月）は、テーマを身近のものとし、講師もテーマごとに担当講師が決まりました。

お近くの方は、ぜひご参加下さい。日時など次の予定です。

（世話役：大畑 明）

ペアーレ東大阪 14時～16時	社会保険センター 堺13時～15時	ペアーレ高槻 10時～12時	テーマ	講師
10月 6日(月)	10月 8日(水)	1月19日(月)	「傷ついていく地球、犯人はだれ？」	大畑 明
10月20日(月)	10月15日(水)	1月26日(月)	「意外と知らない「ごみ」問題」	島林 泰人
10月27日(月)	10月22日(水)	2月 2日(月)	「家庭から地球温暖化を考える」	阪野 喬
11月10日(月)	10月29日(水)	2月 9日(月)	「物質循環とリサイクル」	星野 叡史
11月17日(月)	11月12日(水)	2月16日(月)	「環境家計簿で「お手軽」節約」	伊達ヒロミ

ドイツとオランダを視察して（変な納得）

飯田 哲也

オランダは平成元年に下水道視察団の一員として訪れたことがあったが、ドイツは始めてである。

ドイツはハンブルグに2日間滞在したが、目に付いたのは自動車である。なんとタクシーは、皆ベンツではないか。しかし、一番多いのがフォルクスワーゲンでやはり大衆車なのだと感じた。次に多いのがベンツで、その次にBMWだと思う。日本人から見ると金持ちばかりに見える。日本車は、トヨタとホンダをよく見かけた。他のヨーロッパ車や日本車は、ほとんど見かけない。また、ほとんどの車にサンルーフが付いている。北ヨーロッパは天気が悪く少しでも太陽光に当たりたいという願いが表れているのだろうか。

ドイツは環境先進国として名高い。ハンブルグ駅のゴミ箱は分別されよく整頓されていた。しかし、ちょっと裏通りに入るとコンビニの前のゴミ箱なんか、なんでもかんでも突っ込まれて、分別もリサイクルもあつたもんじゃないう状態だ。大阪の天王寺と変われへんやないか。ちょっと幻滅したが環境先進国でも裏までは手が回れへんのやと変な納得をした。

さて、オランダであるが、懐かしい。でも、景色がちょっと違う。昔来たときは風車を良く見かけた。その風車がない。オランダ名物やで。なんとそのほとんどが風力発電のプロペラに変わっているではないか。昔は風の力をそのまま動力にして水を汲み、粉を挽いていた。今は風の力を一旦電気に変えて、その電気でポンプやモーターを動かして水を汲み、粉を挽いているのだ。時代は変わるもんやね。しかし、プロペラがまತ್ತいらの大地に整然と並ぶ風景は壮大で、これも近代オランダの象徴かと、またまた変な納得をした。

話は変わって、私は下水道技術者である。土壌汚染の専門家ではない。しかし、河川や地下水の水のことならプロである。この辺の関連で土壌汚染のことも多少は理解できる。そこで気になったのがオランダの地形である。オランダの国土は九州と同じぐらいでそこに1600万人が住んでいる。山はなく、ひたすら、まತ್ತいらである。バスで何時間走ろうが山はない。日本人としては非常に違和感のある景色である。また、国土のほとんどが埋立地であるため目の前に見える景色はすべて人間が造ったものであるらしい。畑も林も池もなにもかもである。こんな自然があつてええのか。しかし、オランダ人はこの人工の自然を守るために日本より努力していると言つてもいいだろう。自分たちが造つた自然だからこそ、壊したくないのかも知れない。オランダには、山がないから土がない。これから埋め立てる土はどこから持ってくるのだろうか。汚染された土も何とかして使いたい気持ちがあるがオランダの土壌汚染対策を推進させたに違いない。そんなことも気になったが、こんな地形で川の水や地下水が流れるのだろうかと思った。水は高いところから低いところに流れる（専門的には、水はエネルギーの高いところから低いところに流れる。）が高いところがないのである。川や水路の水を見てみると非常にゆっくりと流れている。また、雨が少ないので堤防もない。日本では考えられないことである。オランダでのオンサイトの土壌浄化はこのような条件下で効果をあげている。日本のような河川も地下水も流速の早い国で、果たしてオランダの技術が通用するのか。視察先の専門家は言う。「大丈夫です」ほんまかいな。しかし、このオランダの技術を日本でも適用できるように再開発するのが日本の企業の使命であり技術者の使命なのである。そのための視察やねんな。またまた、変な納得をした。

他にも変な納得は山ほどした。例えばオランダの国営カジノへ行つて90ユーロ負けた。競馬やパチンコに比べたいしたことはないか。これも変な納得。ホテルは政府招待のためビップゲスト。

バーは何でもタダ。バーボンを注文したが希望の銘柄がない。ヨーロッパやからしゃーないか。これも変な納得。せっかく日本のじめじめした梅雨の期間を、からつとしたオランダで過ごせると思つたのにむちゃくちゃ暑いやないか。バスはクーラーないし・・・なんやかんや・・・それでも地球温暖化の影響もあるし、しゃーないか。最後の変な納得・・・・・・・・

（編者注：飯田氏は、オイスカ ISO 部会の会員でもあり“土壌汚染対策コンソーシアム”のメンバーとして、ドイツ、オランダを訪問）



「環境カウンセラー登録制度実施規程」の改正

既に、ご承知かと思いますが「環境カウンセラー登録制度実施規程」が、8月に改正となりました。要点は次の通りです。

活動実績等報告書の提出

環境カウンセラーに「環境カウンセラー実績報告書（様式第3号）」が義務付けられました。報告書を提出する前年の1年間（平成15年1月～12月）について報告することとなり、その内容は、次の3つです。

- ・ 環境保全活動の実績
- ・ 研修の履修状況又は研さん活動の実績
- ・ 今後の活動計画

報告書はホームページで公開され、“個々の環境カウンセラーの最新の活動をPRし、環境カウンセリングを依頼しようとする方が環境カウンセラーを理解しやすくする”とされています。

また、毎年報告書の提出がない場合は、3年

毎の登録の更新が認められません。

活動実績等報告書提出期限は毎年2月末となっています。

環境カウンセラーの研修

今年度から研修は「新規登録者向け研修」と「専門研修」とに分けて実施されます。

平成15年度環境カウンセラー新規登録者向け対象者は、“平成12年度から平成14年度までに登録された方（登録番号が2000、2001、2002で始まる方）で、これまで研修を受講していない方”が優先されます。平成15年度環境カウンセラー専門研修の対象者は、“環境カウンセラー研修を既に終了している方で、研修で取り上げるテーマについて一定の知識を有し、その分野において活動を行っている方”となっています。尚、平成15年度環境カウンセラー研修申込みは10月15日（水）です。ご留意下さい。

「環境教育指導者養成セミナー」の開催決まる！

首記セミナーがE C U（環境カウンセラー全国連合会）とOECA が共催し、12月6日（土）10時より、大阪府中央区大手前の国民会館12階ホールにて開催されることが決定しました。これは10月1日より施行される環境教育推進法（「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律」）に対するタイムリーな催しであり、別途、パンフレットでご案内致しますので、会員の皆様の積極的な参加と取組みをお願いいたします。

（吉村 孝史）

コミュニティプラザ（大阪環境カウンセラー協会会員の掲示板）HPより

阪神タイガース優勝おめでとうございます。
私は、9月15日は阪神尼崎駅前にいました。応援したり、六甲おろしを歌ったりしてとても楽しかった。
そして、切に思ったのは「道頓堀川を飛び込める川にしよう！」ということでした。
道頓堀川はどうかしたら、きれいにできるのではないか？ 飛び込んだ人が悪いのではなくて、川が汚いから悪いのだ。自転車も投げ込まないようにしよう。
私は郡上八幡の盆踊りを見に行った時、たくさんの方が川に飛び込んでいるのを見ました。長良川の上流のきれいな川で、いつも飛び込むスポットがあるのです。だれも止めはしませんでした。
「道頓堀川を飛び込める川にしよう！」これは大阪府民や企業の人にもわかりやすいスローガンだと思います。

もし、道頓堀川が飛び込めるようになったら、世界から注目されて、向こうからオリンピックを開いてくれと言われるかもしれません。
大阪経済も活性化するでしょう。
環境にも良いし、経済も活性化する。「道頓堀ダイブ世界大会」のようなものが開かれるのが夢です。
（外池恵子）

編集後記：世界各地で異常気象が伝えられ、日本もご多分にもれず夏に、夏が無く、子供たちも夏休みに泳ぐ機会が少なかったことでしょう。CO2の削減も2001年度は温暖化ガスは前年度比2.5%削減されたそうですが、京都議定書が基準とする1990年の基準を5.2%上回っており、このままでは6%の削減約束と合わせて約11%の削減が必要と報じられています。環境カウンセラーの役割も次第に大きくなることでしょう。季節の変わり目です。皆様にはくれぐれもご自愛下さい。
（中島記）

（このニュースレターは再生紙を使用しています）

発行者：NPO法人 大阪環境カウンセラー協会

住所：〒552-0021 大阪市港区築港2-8-24

piaNPO 411号

TEL:06-6599-0600 FAX:06-6599-0607 e-mail: info@osaka-eca.org http://www.osaka-eca.org/

発行人：高井 茂

編集：中島延雄

